

宮崎県綾町

早川 ゆり さん

Hayakawa Yuri

「自然生態系農業」の実践から体験、体感による農の魅力発信へ



略歴

父が起こした農業資材の会社に就職後、1977年に経営を引き継ぐ。

農薬の管理指導士の資格を取得し、仕事も子育ても一生懸命取り組む中で、農薬や化学肥料を使わない農業、自然と共存できる農業への思いが強くなり、1990年に宮崎県綾町で就農、「綾・早川農苑」をスタート。

以来、30年以上にわたり自然と共存する農業を実践。1992年には(有)シードカルチャーを設立し代表取締役役に就任。

2021年には娘夫婦に事業を承継。代表を退任し、自身は顧問へ。

現在、綾町人権擁護委員、宮崎県農業経営指導士、宮崎県農業法人経営者協会理事、宮崎県男女協働参画センター「ひむかwoman」メンター等を務める。

綾・早川農苑 経営概要※

自然生態系農業により約60品目の野菜等を4.5haの規模で生産。農産物の加工、販売のほか、様々な「体験」を消費者に提供し、農業の魅力を積極的に発信する。農業インターンシップ等も実施。農苑スタッフのうち数十名が早川氏の理念を引き継ぎ独立就農している。 ※早川氏代表時のデータ。



早川農苑の野菜ピュレ



大人気の宅配野菜セット



体験施設の入口。早川氏が大切にする「食」「農」「いのち」の文字がお出迎え。

「綾・早川農苑」は娘さん夫婦に受け継がれ新たなステージへ！ →



横町憩苑外観



かまど



横町憩苑店内



五右衛門風呂

---- Next challenge ! ----

綾町中心部にある古民家を購入し、農村の自然、文化、農の体験、体感ができる場所として、人と自然をつなぐ八百屋さん「横町憩苑 (よこまちいこいえん)」、お宿「おやすみ処憩 (いこい)」の運営をスタート。

「おやすみ処憩」には昔ながらのかまどや五右衛門風呂、囲炉裏や火鉢があり、薪(まき)や炭(すみ)のいい香りが漂う。

これまでとはちがう形で「自然」「文化」「農業」「食」の魅力を発信。「おやすみ処憩」は農業体験をする際の宿泊施設として利用でき、特に都市部から訪れる人から好評を得ている。